

2016年3月11日・12日

「遺伝子組み換えルーレット」感想

- 資料あり、説明ありの映画会は初めてでした。話し合いもあり良かったです。
(1954年生・女性)

- 買い物をするとき、特に豆製品や油などは遺伝子組み換えの原料を使用していないことを確認して買うようにしていましたが、子どもの粉ミルクにまで考えが及ばず、表示のないものを確認せずに子どもに与え続けていました。ショックです。子どものことを考えると積極的に情報を得ながら（不明なものは情報を公開するよう求めつつ）消費行動をとろうといっそう強く思いました。
(1978年生・女性)

- GMOについて20年程前に知り、知ってはいましたが、久しぶりに呼び起された様に足が向かいました。

- とても良かったです。
最近、遺伝子組み換え作物について、問題意識が薄れてしまっていたので、改めて、自分の行動を見直したいと思いました。

- 有意義な内容の映画だと思いました。
以前、「世界が食べられなくなる日」を観たが、その映画を観た段階ではもう終わったのかな・・・（モンサント社にやられっ放しで。）と絶望的な気持ちになったが、今回の映画で、かなり救われたような感覚になった。
映画の中の資料で“ウォルマート社”も実験に参加していたが、“ウォルマート”と言うとイコール“西友”しか思い付かない・・・。
一番最後に映された3匹のラットが印象的だった。

- 大変参考になりました。現在、生活クラブに入っていますが個人の問題だけですまされません。私達の食の問題、TPPも関連して考えていきたいです。
(1943年生・女性)

- 以前に「モンサントの・・・」上映を観ました。
今日は説明とともに観たのでより一層よく知ることになり、改めて安全な食生活を考えさせられました。もっとたくさんの主婦にこの企画を知ってもらいたい！

- (1) 興味があるので参加させて頂きました。
毎日口にする食品はやはり気をつけて選んで生活をしたいと思っていますので、今日はとても勉強になりました。
 - (2) 畑をやっていますが、野菜の種が外国の物が多くあるのは知っていましたが、今後は表示を確認して、購入しなければいけないと思いました。
 - (3) 前回のアメリカの農業の映画と、今日の映画で、ますます気を付けて生活をしていきたいと思いました。
-
- 細かい資料がありよかったです。 (1968年生・女性)

 - 以前より気にしていましたが、大変良く分かりました。 (1944年生・男性)